

2008.4.5

タイム誌の記事「日本の大学が見放される」の問題について

1 . 教える側の充実

実態は把握してないが、日本の大学の教授陣はその大学出身者が多いのではないか。

教える側にも刺激が必要と考える。

例えば教授、準教授について総数の上で他大学出身者が3割以上とか、卒業後他大学に籍を置かなかった者は教授になれないことにする。

(民間会社でも昔は入社後退社まで営業、人事等その部門しか知らない者が多かったが、現在多くの会社が複数以上の分野の経験が無いと課長になれないシステムをとっている)

学部長は担当分野の方向付けや成果の実現に極めて重要と思う。これも3代続けてはその大学出身者がなれないこととする。

教授の待遇をもっと良くする。国立大の教授で年収1,100万とのことだが非常に低い。但し私大も含めて具体的な妙案は浮かびません。

2 . 学生について

米国の大学は卒業が難しいとのだが、マイル会には卒業生がおられるのでそのやり方(勉強せざるを得ないような追い込み方)を教えて頂きたい。日本でも取り入れる可能なことはどんどん真似したらどうか。

欧米諸国の実態は知らないが日本は卒業のための取得単位数が多すぎないか(あの先生は単位をとり易いとの理由で学科を選び時間を消費するのは不幸なことと思う)

米国のプロスポーツ選手(野球、アメフト、バスケ等)にも大学卒がいるがその人々はちゃんと両立させて卒業しているのですか それとも早大のように選手用の体育学部があるのですか。

- 3 . 教授陣と学生がその職分を全うすれば成果は上がってくるだろうし、そうなれば外国から優秀な教授や学生が自ずと集まって来るであろう。

大学の経営面から数だけ留学生を集めようとするのは間違いであり留学生にも不幸である。

以上